



アールエスアール (ティエムシー) ▶ブラックi

TEL: 0120-826-644 URL: <http://www.rs-r.co.jp>

RS★R Black★i

RS★Rといえば、高い信頼性と人気を集める国産足まわりメーカー。Kカーに関しては、フロントに全長調整式を採用している「ベースシック」が最近の同社主力ラインナップ。双方ともフロントは車両側の限界近くまで下げられるし、リアもいわゆる「そのこのダウン量」は確保出来る。

その今年、ユーザーからの「もっと落とせる車高調をRS★Rで出して欲しい」という要望に応え、新たに登場したのがここで紹介する「ブラック」だ。フロントは前出2タイプ同様にフルタワー式を、また「ベスト」同様に、減衰力の調整機能を装備。

よりライトな街乗りならコッチ



【ブラック】のような極端な低さは不要なら、【ベスト】や【ベースシック】がオススメ。上は【ベースシック】で全周までリアを落とした状態。ちなみに【ベスト】も同じ状況までは落とし込みが可能。

国内屈指の有名メーカーが満を持してリリースを開始ロードダウン専用の車高調



価格：価格：18万9000円
対応車種：MH系ワゴンR、L175系ムーヴ、L150系ムーヴ
開発予定：L185系ムーヴ、L350S系タント、L375S系タント、DA64Wエブリイ、HG21Sセルボ※開発予定車種の価格は未定。



27ページの状態からは見違えるような違い。リアもアジャスター付きでこの低さを確保しているのだから全く驚かだ。ちなみにこの状態でハンドルはあまり切れない。もしもこの低さを確保したままハンドルを切れるようにしたいなら、キャンバーを付けたリインナーの加工などが必要になってくる。



フロントはワゴンRやムーヴの標準状態よりも、アジャスター付きでこの低さを確保しているのだから全く驚かだ。ちなみにこの状態でハンドルはあまり切れない。もしもこの低さを確保したままハンドルを切れるようにしたいなら、キャンバーを付けたリインナーの加工などが必要になってくる。



リアもアジャスター付きでこの低さを確保しているのだから全く驚かだ。ちなみにこの状態でハンドルはあまり切れない。もしもこの低さを確保したままハンドルを切れるようにしたいなら、キャンバーを付けたリインナーの加工などが必要になってくる。

リアダウン量検証結果